

VirtualPlace Liberty Lite操作方法



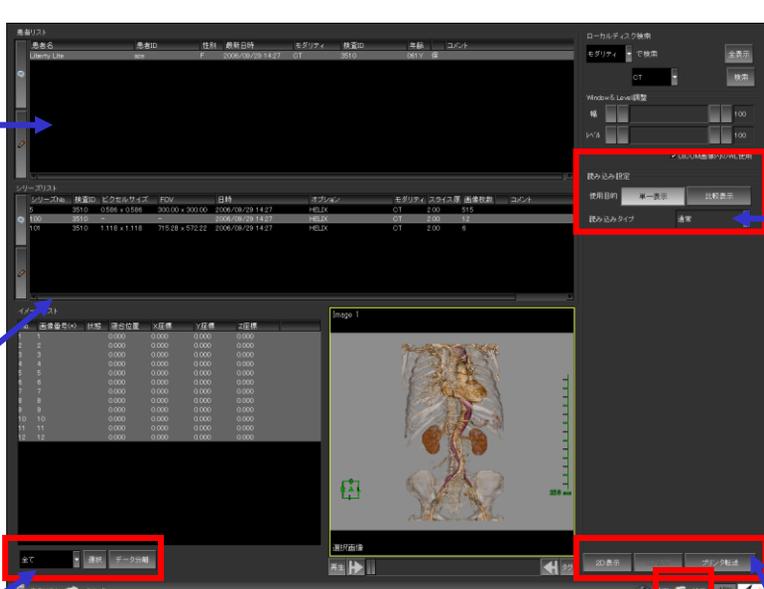
注意) 本ソフトウェアはmicrosoft windows 2000、microsoft windows XPに対応しております。
また、ワイドモニターでは正常に操作できない場合がございます。

1: 患者リスト画面 (①~④の順にデータを読み込んで下さい)

① CD内に入っている患者名が表示されます。クリックして選択します。

② 選択された患者のデータの一覧が表示されます。クリックして選択します。

画像を全て~7枚おきにロードすることが出来ます。



③ 単一表示の時は1シリーズのみをロードし、比較表示の時は2シリーズを登録してからロードします。

読み込みタイプ
通常: 画像データをそのまま読み込みます。
広範囲表示: x,y方向に対して1/2に圧縮して読み込みます。
超広範囲表示: x,y,z方向に対して1/2に圧縮して読み込みます。
擬似倍りコン: 2枚の画像を1枚に再構成して読み込みます。

VirtualPlace Liberty Liteを終了するときをクリックします。

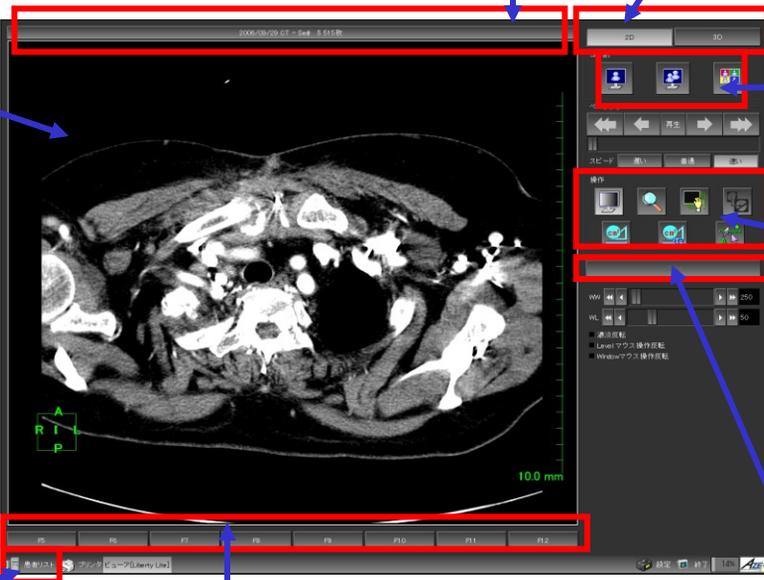
④ 選択したデータの表示方法を決定します。

2: 2D表示画面

クリックすると他のシリーズが選択でき、表示させることができます。

スライスデータをロードしている場合、3Dボタンをクリックすると3D表示に切り替わります。

画面上でホイールを回転させると画像をページングします。



ビューア画面のコマ割の設定を行います。

最大4シリーズを同時に閲覧できます。

上段左より
WW/WL調節、拡大/縮小、平行移動、ロカライザ表示(複数シリーズ読み込み時のみ)

下段左より
2D計測、3D計測、コメント挿入

患者リストボタンをクリックすると患者リスト画面に戻ります。

複数のシリーズを読み込んでいる場合にページングなどを同期させることができます。

クリックするとプリセットされたWW/WLで画像が表示されます。
Shiftキーを押しながらクリックすると設定したWW/WLを記憶します。

3:3D ボリューム編集選択時

このスクリーンショットは、3Dボリューム編集モードのインターフェースを示しています。中央には4つのビュー（冠状、矢状、横断、骨格）が表示されています。右側にはツールパレットがあり、様々な編集オプションが用意されています。赤い枠で囲まれたアイコンやボタンは、説明書の各項目にリンクしています。

- 画像の回転やフリップができます。
- 各画面上のラインをドラッグして回転、平行移動してオブリーク断面に反映させます。スラブ厚の変更もできます。
- 画像をキャプチャします。
- クリックするとスライダーが表示されます。ドラッグするとページングができます。
- 画面レイアウトの変更ができます。
- このアイコンが押されている状態で各種ボリューム編集が可能になります。
- 初期状態：ロード直後の状態に戻ります。
- 直交表示：スラブ厚をそのままに直交表示に戻ります。
- フレーム表示：画面に紫色のラインが表示され、ドラッグするとクリッピングができます。再度ボタンをクリックすると解除します。
- 画像表示の変更(MIP、MinIP、Ray Sum)やスラブ厚の変更ができます。

キーを押すと指定した向きに画像が表示されます。(直接入力時のみ)
A:前、P:後ろ、S:上、I:下、L:左、R:右

4:3D カットプレーン選択時

このスクリーンショットは、3Dボリューム編集モードでカットプレーンを選択している様子を示しています。画面には緑色の点と黄色いラインが描かれ、それらをドラッグしてカットプレーンを調整できます。右側のツールパレットには、カットプレーンの回転や厚さ調整に関する機能が用意されています。

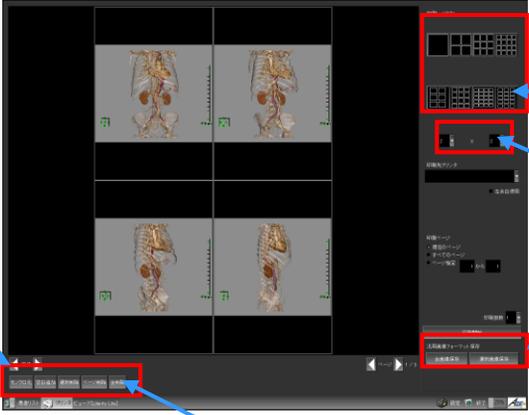
- 画面上の緑色の点をドラッグするとカットプレーンの平行移動、中央の黄色いラインをドラッグするとカットプレーン断面の回転、両サイドのラインをドラッグすると任意でカットプレーン厚を調整できます。
- ボリューム回転選択時、設定したカットプレーンを回転できます。カットプレーン回転選択時ではオブリーク画面上の緑色の点を中心にして任意の位置のカットプレーンを表示します。

5:画像キャプチャ

このスクリーンショットは、3Dボリューム編集モードで画像をキャプチャする手順を示しています。まず、ソフトウェアのメイン画面で右クリックして「画像をデスクトップ保存」を選択すると、保存ダイアログが表示されます。このダイアログでは、保存先やファイル形式を選択できます。

- ・画像上で右クリック
- ・「画像をデスクトップ保存」をクリックすると保存ダイアログが表示されます。
- 保存先を選択します。(デスクトップ等)
- Functionキーを用いて印刷画面(次項で説明)に転送も可能です。
- F1: 選択画像
- F2: 表示画像を1枚ずつ
- F3: 表示レイアウトを1枚として
- 画像をjpeg、bmp、png、などで保存できます。

6:印刷画面



(矢頭部分)
選択した画像の順序
を変更できます。

クリックして印刷レイアウトを変更します。

数字(1~6)を選んで印刷レイアウトを変更します。

プリンタ登録した画像をjpeg. bmp. png.などで保存できます。

- ・モノクロ化: 選択したカラー画像をモノクロ画像にします。
(一度モノクロ化すると元に戻すことができませんのでご注意ください)
- ・空白追加: 選択した画像の前に空白のコマを挿入します。
- ・選択削除: 選択した印刷出力画像を削除します。
- ・ページ削除: 現在表示されているページを削除します
- ・全削除: プリンタ登録されている画像をすべて削除します。